

令和七年
三月

Vol.3

第4回 学校運営協議会

第4回学校運営協議会（令和7年2月19日開催）の内容を報告します。

発行・文責：

糸島市立前原小学校 学校運営協議会委員

学習参観と今年度の学校の取り組みについて

協議会に先立ち、委員各自で自由に学習参観をしました。どの学年も集中して学習する姿が見られ、特に外国語の授業では生の英語を使いリスニングに重きを置いていることに驚きました。しかし、英語は担当する先生によって差が出る可能性があるのではないかと思います。格差が出ないような取組が大切だと考えます。

学力と体力の測定の結果、ほとんどの学年で全国平均を上回る結果が出ていました。相対話を取り入れた学習や、縄跳び検定などの取組が奏功したことは評価できる点だと感じました。

懸念点として、朝食の摂取率が少し低いことが挙げられます。学習への集中のためにも、各家庭でしっかり取り組んで欲しいです。

6年生への、食育と思い出のために、「おむすび給食」が計画されていました。食べることと、作る方への感謝の気持ちを醸成する取組として期待できます。



その後の質疑で委員から出された「先日発生した近隣での強盗事件や連れ去り事案へはどのように対応しているか。」という質問に対し、「1週間、教師で見守り活動を行い、下校時は途中まで引率を行った」との回答が得られました。また学校からの要望として「安全に係る情報に対し地域の協力が得られるよう、コネクトサービスメールを地域の方にも受信してもらいたい」「防犯メールの発信の際には学校と学校運営協議会の連名で発信者としてほしい」旨が挙げられました。現在地域としては青色パトロールカーによる巡回を行っていますが、今後防犯メールが発信された際にはコミュニティセンターを中心に情報共有を行い、警察とも連携してパトロールの強化に努めたいと考えています。

第2回まごころ・えがお・がんばる会議

「地域に働きかける学習が充実したものになるために」をテーマに、6つのグループに分かれて先生方からの活動報告と、それに対しての意見交換を行いました。地域と関わる学習から得た効果として、「子ども達は何を学びどういう意識の変化があったか」と、「より充実するためには学校と地域が協働しどのようなことを行うとよいか」について話し合いました。

★ 1年生:シニアクラブの方に昔遊びを教えて頂き一緒に遊んだ。

めんこよりカードゲーム、こまよりペイブレードという世代に、地域で昔遊びの良さを教えようとシニアの方が意欲的に取り組む姿が見られました。コロナウイルス感染症の影響により、実に6年ぶりの開催であり、シニアの方からは「挨拶ができるだけで充分」との喜びの声が上がって、お互いに楽しむ姿が想像できる取組でした。一度きりの交流でなく、成果を紹介したいという意見が出ていました。

★ 2年生:町を探検し、町のすてきを保護者に伝えた。

前原商店街の様子を見て、商店街の良さはどこ?という疑問が生まれました。ゲストティーチャーを呼んで話を聞いたり、野菜の作り方を教えてもらったりと町のすてきについて得た知識を保護者に伝えました。今後は、作った堆肥を配るなどの具体的な活動に繋がりたいという意見が出ていました。

★ 3年生:地域の方の思いを聞き、自分たちができることを考え地域のために取り組んだ。お店の工夫を見つけてお店のPOPを作り、お店に掲示してもらった。

お店を訪問しインタビューすることで相手の顔を知ることができ、またお店の方の笑顔が生まれて商店街の活性へと繋がった。先生方も山笠に参加して子ども達とふれあい、地域の活動を肌で感じる事ができそうです。笑顔の花を咲かせようと、子ども目線からの改善を考える真摯な姿勢と、お店の方も何をしてくれるんだらうというワクワク感が地域を明るくし、Win-Winの取組になったと感じました。

★ 4年生:ハマボウ群生地を見学し話を聞いて、作成したハマボウ新聞を校内に掲示した。夏祭りについて宮司さんや区長さんに話を聞き、前原の祭りを広めていくためのスライドを作った。

今まで知らなかったような詳しい話を聞いて知見が広がり、試行錯誤しつつアウトプットすることで子ども達に学習したことが定着できたと感じました。来年はこういうことをやってみようという意欲に繋がっており、駅に掲示したりそれに二次元コードを添付したりして情報を発信する方法について意見が出されました。PTAとしても保護者を巻き込み、その方たちの特技を活かして子ども達の学習効果を高める活動に繋がってほしいと考えます。

★ 5年生:前原の事業所を職場見学した。前小の歴史を調べ創立150周年記念行事で披露した。校区の田んぼを借りて地域の方に手伝ってもらいながら、田植え、稲刈り、餅つきをした。

地域の方がたくさん協力してくれることに校区の温かさを感じ、地域の一員として嬉しくなりました。職場見学は地域あってこそ取り組める活動であり、これから先の子どもの職業体験へと繋がり、将来へ役立つ経験となることにも期待しています。

★ 6年生:夢かなえプロジェクトとして、校区で活動している夢をかなえた方から話を聞き学んだ。

特別な人ではなく「前原から」という身近な人や年齢が近い大学生の話を聞くことで、子ども達の理解がより深まり、目の輝きが変わったようです。将来に向けて、夢を実現するためのライフプランマップを作成して、一步一步を具体的に考えることができたようです。今後は、夢をかなえる場所でもある前原への誇りや愛着をもつために、子ども達が地域の清掃活動等へ積極的に参加し自分たちの地域を大切にできる取組をしたいです。そのために学校としては写真などを使いつつ、子ども達や地域へ活動の様子を情報発信していきたいという意見が出されました。



子ども達を中心に学校と地域が繋がり、一つとなって子育てに取り組んでいく。そうして成長した子ども達がまた地域社会を作っていく。そのために、学校運営協議会では学校との対話をしっかりと行い、これからも子ども達がより良い環境で成長できるような地域作りに取り組んでいきたいと思います。